

### 聖地甲子園 その1

待ちに待った聖地甲子園でした。ここに至るまでの今年の苦しみはどういうことだったのかは、後々検証することとしてみても、生徒たちが笑顔で出かけていくことができると考えたのですが、世の中の情勢はコロナ新型コロナウイルスに覆われてしまい、選抜甲子園は中止の決断になり、やむを得ず、受け入れることとなりました。世の中は、すべていつもうまくいくということではないようです。全国の同窓生の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、在校生や卒業生の諸君、残念極まりなく無念ですが、これを跳ね返すことも求められていると考え、前を向いていくつもりです。

心無いいろいろな声もありましたが、それも試練の一つであると受け入れてまいりました。中止という決定もまた、大きな試練の一つです。ただし、コロナ新型コロナウイルスの影響は社会全体に及び、社会全体が大きな試練を迎えているといっても過言ではありません。このまま、いつこの協奏曲が終結するのかということに様々な知恵を凝らし、人任せではない工夫と研究を重ねないと、この危機は脱しようがありません。

学校も、いつから再開するのか、授業はどうするのか、入学式は予定通り行われるのか、部活動はどのようにしていくのか、授業そのものに対する手立てはどうするのか、かつての東日本大震災時のような様々な対策をとる必要があると考えています。

あと退職まで10日とばかり言っていられない事態です。現在のところ、26日に予定しております合格オリエンテーションの開催について速やかに決定しなければならぬと考えます。

春季休業中における様々な対策は、現在県教委と話し合っており、近々通知が下るはずですが、その後のありとあらゆる手立てに対する準備も始めてまいります。明日からの3連休を控え、学校の中で議論は尽くしておりますので、対策に対する指示が出次第にホームページやメールでお知らせします。

不安な毎日ですが、不安を前提に考えうることを共有しながら進めてまいり所存です。このことは、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・そして大学等の期間でも共通の問題です。子供たちを取り巻く制度設計からの見直しと対応策が求められると考えます。

このような危機を潜り抜けながら、志を高くして社会生活を再構築していく手立てとしていく気概をもっていかなければなりません。そのことがきっと、次につながるはずです。